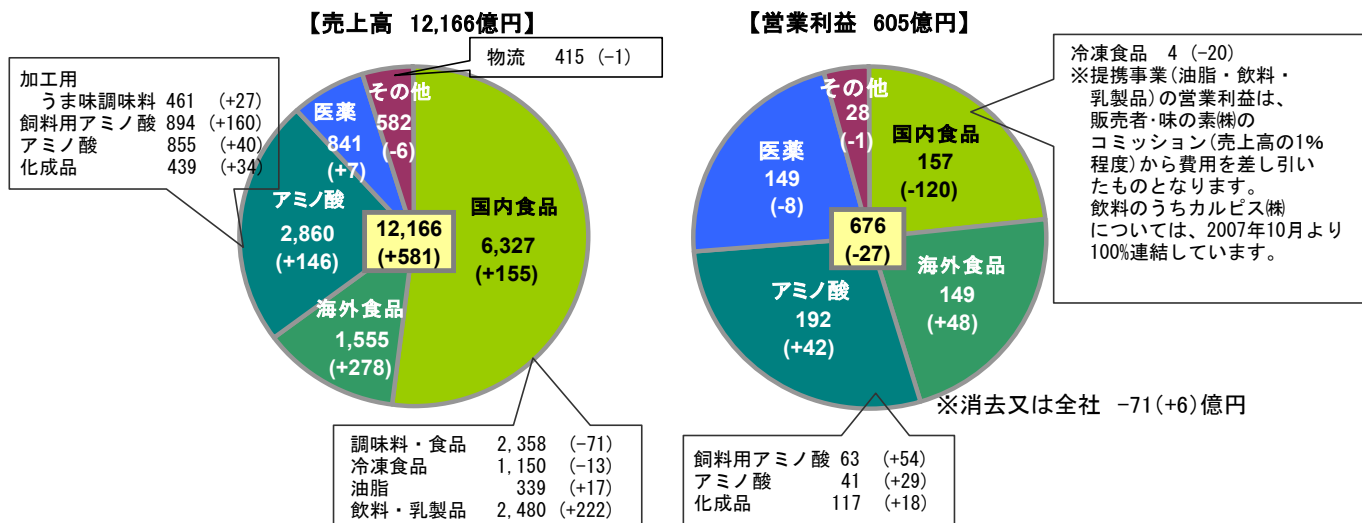


味の素株式会社 2008年3月期決算 参考データ<確定版>

1. 売上高・営業利益 事業区分別構成

(億円、( )内対前年増減)



2. 事業区分と製品区分

事業区分	内訳	主要製品
国内食品	調味料・加工食品	【家庭用】「味の素」、「ほんだし」、「Cook Do」、「クノールカップスープ」、「味の素KKコンソメ」、「ピュアセレクト マヨネーズ」、「ケログ」、「パルスweet」(国内分)、「アミノバイタル」(国内分)、ギフト各種 【業務用】外食用調味料・加工食品、加工用調味料(天然系調味料、酵素製剤「アクティバ」※加工用調味料の海外分は、国内食品セグメントに含まれます。)、弁当・惣菜、ベーカリー製品
	冷凍食品	「ギョーザ」、「エビシューマイ」、「お弁当にエビ寄せフライ」、「やわらか若鶏からあげ」、「HOT! 1 エビピラフ」、「フレック洋食亭ハンバーグ」、「AMOY」(海外販売分)
	油脂	㈱J-オイルミルズ家庭用製品(「サラダ油」、「健康サララ」、「オレイン酸たっぷり ベに花油」)
	飲料・チルド乳製品	味の素ゼネラルフーズ㈱製品(「マキシム」、「ブレンディ」) カルピス㈱製品(「カルピス」、「カルピスウォーター」、「アミールS」) ダノンジャパン㈱製品(「ダノン フルーツセレクション」、「プチダノン」)
海外食品	調味料・加工食品	家庭用・外食用「味の素」(各国)、「RosDee」(タイ/風味調味料)、「Masako」(インドネシア/風味調味料)、「Sazon」(ブラジル/混合調味料)、「AMOY」(中華系液体調味料)、「YumYum」(タイ/即席麺)、「Birdy」(タイ/コーヒー飲料)
	加工用うま味調味料	食品加工業向け「味の素」、核酸系調味料
アミノ酸	飼料用アミノ酸	飼料用リジン、飼料用スレオニン、飼料用トリプトファン
	アミノ酸	【医薬用・食品用アミノ酸】アルギニン、グルタミン、バリン(輸液用途・飲料用途等) 【甘味料】アスパルテーム ※「パルスweet」等の日本国内リテール売上は国内食品セグメントに含まれます。 【健康栄養】「アミノバイタル」 ※「アミノバイタル」の売上の大部分は国内食品セグメントに含まれます。 【医薬中間体】カスタム合成中間体(抗ウイルス薬・抗癌薬・降圧剤等)、ジェネリック原薬、植物抽出品
	化成品	【化粧品原料】「アミノソフト」(マイルド洗浄剤) 【化粧品】「Jino」 【電子材料】「ABF」(プリント配線板用層間絶縁フィルム)、液晶画面駆動半導体用絶縁インキ
	医薬	【医薬品】輸液・栄養・透析(「ソリター-T」、「ビーエヌツイン」)、消化器(「リーバクト」、「エレンタール」)、生活習慣病(「アテレック」、「ファスティック」、「アクトネル」) 【医療食】「メディエフ」、「インパクト」
その他	-	物流、各種サービス他

### 3. 国内食品

#### (1) 主要製品 家庭用市場シェア(当社推定)

製品領域	ブランド	2006年度		2007年度		2008年度
		市場規模 (億円)	当社シェア(順位)	市場規模 (億円)	当社シェア(順位)	市場規模予想 (億円)
うま味調味料	「味の素」「ハイミー」	80	86%(1位)	79	87%(1位)	80
和風だしの素	「ほんだし」	409	53%(1位)	413	49%(1位)	450
コンソメ	「味の素KKコンソメ」	124	68%(1位)	124	68%(1位)	127
スープ	「クノール」	911	42%(1位)	928	38%(1位)	940
マヨネーズ類	「ピュアセレクト」	427	25%(2位)	465	25%(2位)	455
中華調味料	「Cook Do」	435	37%(1位)	446	34%(1位)	455

\*当社シェア:消費者購入価格ベース

#### (2) 国内食品家庭用/業務用比率 (単位:億円)

		2006/4-9	2006年度	2007/4-9	2007年度
調味料・ 加工食品	売上高	1,162	2,429	1,129	2,358
	家庭用*1	60%	61%	59%	61%
	業務用*2	40%	39%	41%	39%
冷凍食品	国内向け売上高	546	1,095	553	1,074
	家庭用	64%	63%	65%	63%
	業務用	36%	37%	35%	37%

\*1家庭用:家庭用調味料・加工食品、ギフト \*2業務用:業務用調味料・加工食品、加工用調味料、弁当・惣菜、ベーカリー

### 4. アミノ酸

#### (1) MSG、核酸系調味料 当社推定市場規模

	2006年度				2007年度			
	中国	その他	計	当社シェア	中国	その他	計	当社シェア
MSG(千ト)	890	1,060	1,950 *1	約27%	930	1,090	2,020 *2	約28%
核酸系調味料(千ト)	-	-	18	約40%	-	-	19	約40%

\*1家庭用:1,200千ト、加工食品メーカー向け:750千ト \*2家庭用:1,245千ト、加工食品メーカー向け:775千ト

#### (2) 飼料用アミノ酸 市況及び当社推定市場規模

		2004年度	2005年度	2006年度	2007/4-9	2007年度	2008/4-9 予想	2008年度予想
スプレッド <sup>(US<sup>ドル</sup>/ST)*</sup>		124	113	76	100	130	120	120
市場価格 (US <sup>ドル</sup> /kg・ CIFベース)	リジン	1.9	1.4	1.45	1.55	1.60	1.80~1.90	1.80~1.90
	スレオニン	2.7	3.4	2.4	2.0	2.1	2.2~2.5	2.4~2.5
	トリプトファン	29	24	27	30	31	25~30	25
市場規模 (千ト)	リジン	830	900	960	/	1,050	/	1,150前後
	当社シェア	30%前後	30%前後	30%前後		30%前後		30%前後
	スレオニン	65	85	105		125		150前後
	当社シェア	70%	60~70%	60%前後		60%前後		60%前後
	トリプトファン	1.5	1.8	2.2		2.5		3.7前後
当社シェア	70~80%	70~80%	80%前後	85%前後	80%前後			

\*スプレッドはシカゴ商品取引所(CBOT)の大豆粕とトウモロコシの価格差

#### (3) アミノ酸系甘味料アスパルテーム 当社推定市場規模

	2006年度		2007年度		2008年度予想	
	市場規模	当社シェア	市場規模	当社シェア	市場規模	当社シェア
アスパルテーム(千ト)	17.5-18.5	45-50%	18.5-19.0	約50%	約19.0	50%超

### 5. 医薬

#### (1) 当社グループ製造承認取得製剤 薬価売上(当社推定)

(単位:億円)

領域	製剤	発売年月	効能または分類	販売者	2006年度	2007年度	前年比
輸液・ 栄養・ 透析・ 消化器	「リ-ハク」	1996年 5月	肝疾患用分岐鎖アミノ酸製剤	味の素ファルマ(株)	150	155	103%
	「ソリター」	1962年 2月	電解質輸液	味の素ファルマ(株)	85	77	90%
	「エレンタール」	1981年 9月	成分栄養剤	味の素ファルマ(株)	75	76	102%
	「ピ-エヌツイン」	1993年12月	高カロリー輸液用糖・電解質・アミノ酸液	味の素ファルマ(株)	43	38	89%
	「ヘパリン製剤」	1972年 4月	血液凝固阻止剤	味の素ファルマ(株)	36	36	100%
	「ニフレック」	1992年 6月	経口腸管洗浄剤	味の素ファルマ(株)	25	25	102%
	「ツインバル」	2004年 9月	糖・電解質・アミノ酸末梢輸液	味の素ファルマ(株)	28	20	72%
	「AKソリタ」	1970年11月	人工腎臓用透析液	味の素ファルマ(株)	20	16	80%
	「エレメンツック」	1992年 4月	高カロリー輸液用微量元素製剤	味の素ファルマ(株)	18	16	94%
生活 習慣病	「ヘパシED」	1991年 9月	肝不全用成分栄養剤	味の素ファルマ(株)	17	15	93%
	「アテック」	1995年12月	持続性カルシウム拮抗降圧剤	持田製薬(株)	115	139	121%
	「アクトネル」	2002年 5月	骨粗鬆症治療剤	エーザイ(株)	93	102	110%
	「ファスティック」	1999年 8月	速効性インスリン分泌促進剤	第一三共(株)	59	58	98%

<参考>薬価改定の影響:2006年4月 約-7%、2008年4月 約-6%

## (2)新薬のパイプライン

2008年3月末日現在

領域	名称	開発状況	適応	備考
消化器*1	「ニフレック」	申請中	バリウム注腸X線造影検査の前処置	効能追加 / クエン酸モサプリドとの併用
	AJM300	Phase II	炎症性腸疾患	
生活習慣病*2	「ファスティック」	申請中	糖尿病	効能追加 / インスリン抵抗性改善剤との併用
	ナテグリニド <sup>i</sup>	Phase III <sup>i</sup> (海外)	糖尿病	効能追加 / 耐糖能異常
	「アクトネル」	申請中	骨ペーজেット病	効能追加 / 希少疾病用医薬品指定
	AJD101	Phase I (海外)	糖尿病	
		Phase II (日本)		
SGLT2阻害剤 <sup>ii</sup>	Phase I <sup>ii</sup> (海外)	糖尿病		
その他	AC-7700 (AVE8062) <sup>iii</sup>	Phase I <sup>iii</sup> (海外)	固形癌	

\*1 消化器病の研究開発は、肝疾患、炎症性腸疾患(IBD)を中心に行っております。

\*2 生活習慣病の研究開発は、糖尿病を中心に行っております。

i 韓国を除く海外における開発・製造・販売権をライセンスしたノバルティス社により実施中。

ii 全世界における開発・製造・販売権をライセンスしたペーリンガーインゲルハイム社により実施中。

但し、当社は日本における共同販促権を保有。

iii 全世界における開発・製造・販売権をライセンスしたサノフィ・アベンティス社により実施中。

## (3)2007年4月以降発売の新製品

2008年3月末日現在

領域	名称	発売年月	効能又は分類	備考
医薬品	「パレセーフ」点滴静注用	2007年4月	末梢静脈栄養輸液	ビタミンB1入りダブルバッグ製剤
	「アクトネル」	2007年6月	骨粗鬆症	剤型追加 / 週1回投与製剤
	「カーボスター」	2007年6月	人工腎臓用透析剤	酢酸を含まない透析剤、液剤および粉末剤
	「ファスティック」	2007年11月	糖尿病	効能追加 / ビグアナイド製剤との併用

注：2008年4月 流動食をゼリー化する為のゼリー調製食品「ヘルッシュジェルメイク」を発売。